

OLYMPUS Investor Day 2018
科学事業 (SSBU)

2018年9月5日
オリンパス株式会社
代表取締役社長執行役員
笹 宏行

16CSP目標達成に向けた今後の取り組み

ライフサイエンス分野の戦略見直し：売上規模を追わず、収益性を重視

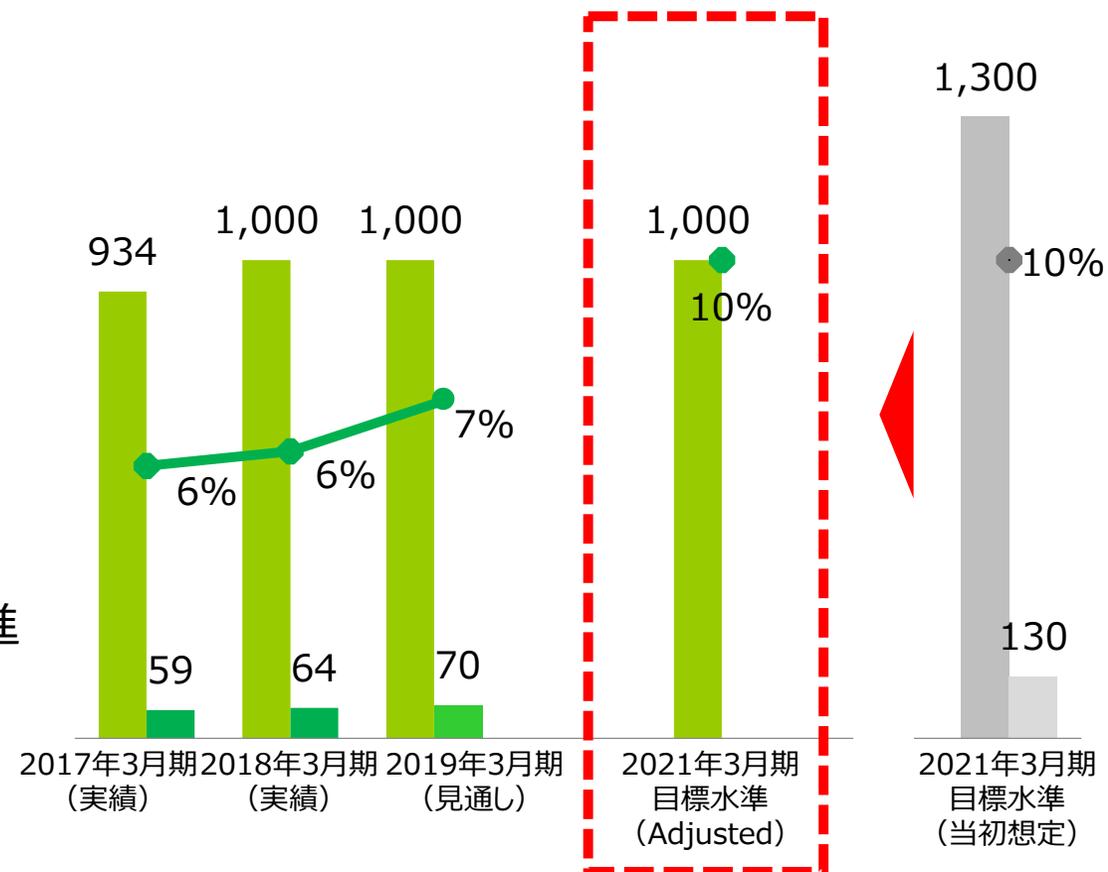
課題認識

- ライフサイエンス分野は、全体として成長が鈍く、収益性が課題

戦略見直しのポイント

- ライフサイエンス分野は、構造改革と成長分野への選択的投資強化により収益性向上を最優先
- 産業分野は、引き続きオーガニック成長と商品ポートフォリオ拡大を推進
- **営業利益率目標10%は変えず、収益を確保する事業体質を確立**

売上高 営業利益 営業利益率



OLYMPUS Investor Day 2018
映像事業 (IMBU)

2018年9月5日
オリンパス株式会社
代表取締役社長執行役員
笹 宏行

16CSP目標達成に向けた今後の取り組み

高付加価値ビジネスの推進により、継続的に収益性を改善し、黒字体質を定着する

黒字体質の定着

- 収益性の高いOM-D シリーズ、PROレンズの拡販：
マイクロフォーサーズ規格のメリットを最大限に活かした圧倒的な機動性と高画質を高次を実現したオリンパスらしいユニークなミラーレスによる差別化
- プロ・ハイアマユーザー顧客層拡大のための製品開発
- 製造機能集約による製造原価率の改善及び製品立ち上げ効率の向上

全社技術ドライバー

- 事業活動で獲得した技術を他事業へ展開

① 先端デジタル技術

科学事業

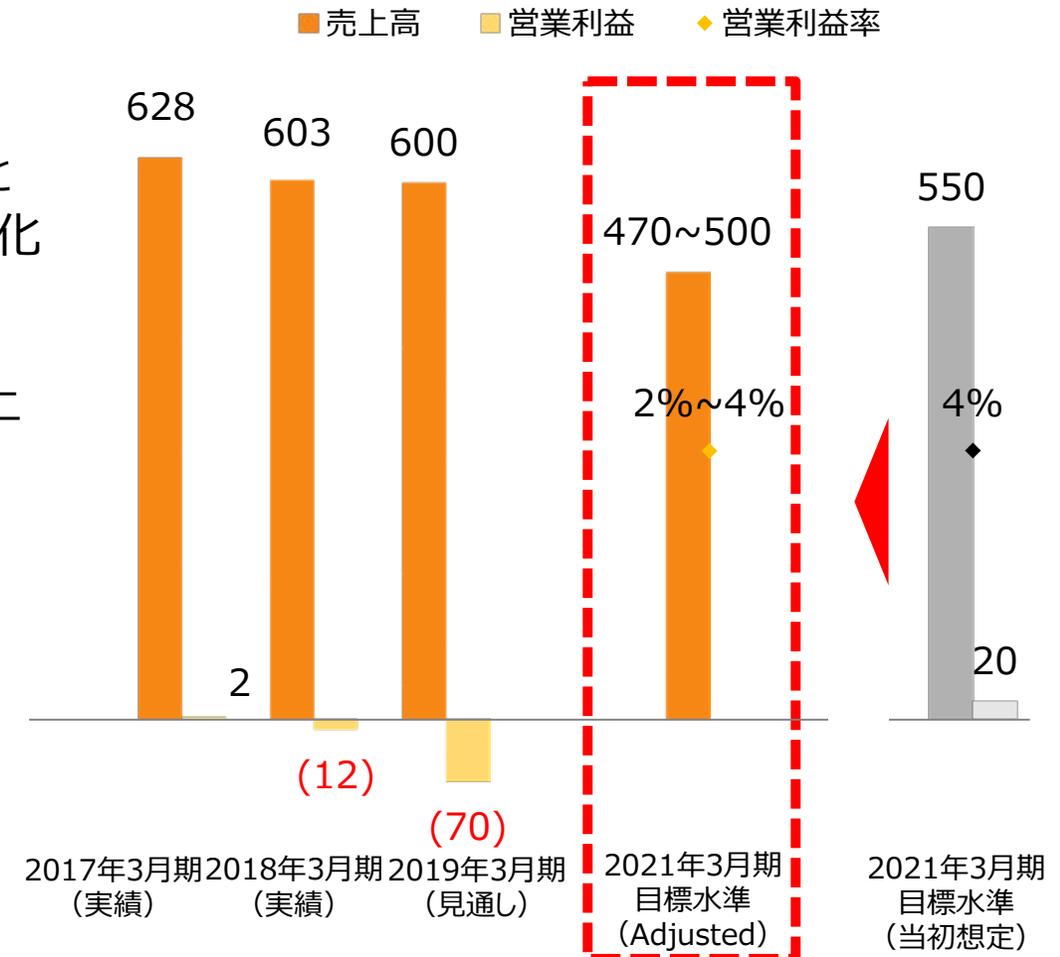
「再生医療向けのソリューション開発」として、Wi-Fi/ICT活用の試作機を開発

② 低コスト生産設計力

医療事業

短納期・低コストの開発プロセス、量産・小型化技術等を活用し、次世代エネルギーデバイスを開発

③ モバイル技術



OLYMPUS
